

## 第5回「都市づくりのグランドデザインの改定に向けた検討会」

### 議事要旨

1. 日時 令和7年11月10日(月) 13:30~15:30
2. 場所 東京都庁第二本庁舎10階 一般会議室210、211 (WEB 併用)
3. ゲストスピーカー
  - 東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授 大月 敏雄 氏  
「東京都の住まいまちづくりの課題」
  - 東京都立大学 都市環境学研究科 市政策科学域 教授 饗庭 伸 氏  
「市場とセーフティネットによる4つの都市計画」
4. 議事
  - ※議事次第の通り
5. 主な意見

- ・超高齢社会は、ダイバーシティを一層広げる社会と捉え、誰にとっても暮らしやすい東京を目指すべき。今後増加する単身高齢者層を視野に、地域との繋がりや在り方などを考えることが重要。
- ・住宅数について、マクロ的に充足していても、住まいへのニーズの多様化・細分化に伴い、ミクロ的に不足している状況とも考えられる。セーフティネットの視点から、本当に困窮している人が支援を受けられる仕組みづくりが重要。また、住宅政策の枠組みである市場とセーフティネットのそれぞれの状態を、複数の指標で見極め、必要に応じて建物の代謝（新築への置き換わり）などに介入していくことも重要。
- ・生活の質やウェルビーイングの観点から、移動に伴うストレスに注目し、都心への長距離移動に繋がる郊外部における駅近接マンションなどを含め、住まいと職場などとの位置関係を踏まえた戦略の議論が重要。
- ・まちづくりの様々な課題の解決には、都市分野における幅広い情報をリアルタイムで集約するデジタル基盤の整備が有効。また、膨大な情報から都民一人ひとりが主体的に選択し、活用できるようにすることが重要。
- ・グランドデザインの改定に向けては、マクロとミクロ双方の視点を持ち、各地域の人口の分布なども押さえるとともに、将来に向け公的ストックを賢く活用していく検討が重要。また、都民に対して分かりやすい形で改定内容が示されることも重要。